

プロコフィエフ シリーズ
Vol.4

長瀬賢弘 プロコフィエフ を弾く。

Yoshihiro Nagase plays

PROKOFIEV



束の間の幻影 op.22

Visions fugitives op.22

2つのソナチネ op.54

2 Sonatine op.54

子供のための音楽 op.65

Music for Children op.65

ピアノ・ソナタ 第9番 op.103

Sonata No.9 in C Major op.103

歌曲「みにくいアヒルの子」op.18

Ugly Duckling op.18

メゾソプラノ：小野綾香

ほか

2018年3月30日(金)

18:30開場・19:00開演

すみだトリフォニー小ホール

*JR総武線・東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」徒歩5分

全席自由：一般¥3,500・学生¥2,000(各税込)

◎チケットお取扱い：

カンフェティチケットセンター 0120-240-540 / マルタミュージックサービス 047-335-2002

後援：一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ) / 公益財団法人 日本ピアノ教育連盟 / 東京藝術大学同声会 / クロイツァー記念会

◎お問合せ / マネジメント：

マルタミュージックサービス 047-335-2002 <http://maltamusic.net/>

*事情により曲目が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

抒情の調べ

「プロコフィエフのピアノ曲」と聞いて、皆さんはどのようなイメージをお持ちになりますか？風刺的な雰囲気、打楽器を彷彿とするリズムの数々、難解で技巧的……もしかすると、そのようなイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか。確かにそれらは、プロコフィエフの音楽が持つ魅力の一端であることは間違いありませんが、一方で、彼の作品の持つ抒情的側面については、ことピアノ演奏の分野では意外と見過ごされがちのように思います。シリーズの前回で取り上げたバレエ「シンデレラ」などは、彼の抒情性を代表する作品のひとつですが、ピアノ作品においては、前述したようなある種のステレオタイプなイメージが先行しがちのようにも思います。

プロコフィエフのピアノ作品全曲演奏シリーズ第4回となります今回は、抒情性を湛えたピアノ作品の数々を中心にお送り致します。彼の抒情的側面については、歌謡的な旋律、そして *p* や *pp* といった弱音の扱いに対する繊細なアプローチなどがポイントとして挙げられます。今回の演奏会を通じて、皆様とプロコフィエフの持つ繊細な世界の美しさを共有することができたら、これ以上の幸いはいりません。また今回は、メゾソプラノの小野綾香さんをお迎えし、プロコフィエフの歌曲にも焦点をあてます。彼の抒情性と「歌」とは、切っても切れない関係にあります。今にちにおいて、彼の歌曲の演奏機会は決して多くはありません。生でプロコフィエフの歌曲に触れて頂ける貴重な機会となります事を、お約束いたします。

多くの皆様のご来場を、心よりお待ちしております。

長瀬賢弘



写真：満田聡

Yoshihiro Nagase plays Prokofiev

◎シリーズ今後の予定(年1回開催)

Vol.5 5つの特徴

Vol.6 戦争ソナターその1

Vol.7 戦争ソナターその2

Yoshihiro Nagase plays

PROKOFIEV

Vol.4

長瀬賢弘 (ピアノ) Yoshihiro Nagase, Piano

福島県いわき市出身。桐朋学園大学附属子供の為の音楽教室(水戸教室)を経て、1999年東京藝術大学音楽学部附属高等学校を首席で卒業。同大学音楽学部を経て、2009年東京藝術大学大学院修士課程を首席で卒業、クロイツァー賞受賞。第23回ピティナピアノコンペティションG級金賞受賞、併せて東京都知事賞、ヒノキ賞受賞。第74回日本音楽コンクール第2位、岩谷賞(聴衆賞)受賞。第20回イタリア・カラブリア国際ピアノコンクール第3位(2位なし)。他、数々のコンクールで優勝や入賞を果たす。モスクワ音楽院にて研鑽を積んだ後、2014年東京藝術大学にて博士号を取得。現在、東京藝術大学音楽学部非常勤講師、桐朋学園大学附属子供の為の音楽教室講師、沖縄県立芸術大学講師などを務め、後進の指導に携わる一方、東京や地方都市にてソロや室内楽の演奏活動を精力的に行う。また、おでかけアリオスアーティストとして、教育現場でのアウトリーチ活動も積極的に行っている。これまで、ポーランド国立クラクフ室内管、東京フィル、東京交響楽団、仙台フィルほかとピアノ協奏曲を協演。現在までに、故・赤津里佳子、津山博子、堀陽子、平山聡子、故・G.山根美代子、多美智子、M.ヴォスクレセンスキー、有森博の各氏に師事。



ゲスト：小野綾香 (メゾソプラノ)

Ayaka Ono, Mezzo Soprano

東京藝術大学音楽学部を経て同大学大学院音楽研究科修士課程独唱専攻をリムスキー=コルサコフの歌曲で修了。同大学院博士後期過程にて、2017年「ロシア歌曲研究——ショスタコーヴィチの歌曲集《風刺(過去の情景)》Op.109を中心とした歌唱音声の追求——」で博士号(音楽)を取得。これまでに藝

大定期M.ハイドン《大司教ジギスムントのためのレクイエム》、藝大チャリティー公演《メサイア》、ベートーヴェン《交響曲第九番》、バッハ《マタイ受難曲》、《ロ短調ミサ》、藝大オペラ定期モーツァルト歌劇《フィガロの結婚》(マルチェリーナ)、リチャード・タラスキン京都賞受賞記念公演ストラヴィンスキーの歌劇《マーヴラ》(ペトロフナ)等の作品に出演。2014年奏楽堂日本歌曲コンクール第2位及び木下記念銀メダル受賞。2015年三菱地所賞受賞。2016年長野羊奈子賞、毛利準賞。武藤舞基金奨学生。これまでにイリーナ・ロミシエフスカヤ(モスクワ、ノーヴァヤオペラ劇場専属歌手)、小泉恵子、永井和子の各氏に師事。

すみだトリフォニーホール 小ホール

〒130-0013 墨田区錦糸1-2-3 TEL 03-5608-5400(代)

JR総武線「錦糸町駅」北口より、徒歩5分/東京メトロ半蔵門線「錦糸町駅」3番出口より、徒歩5分
都営バス「錦糸町駅」下車、徒歩5分